

10-アース

ソコニダシカイルノデスカ？



THE HEAVENS
OF COPERNICUS

人はなぜ他人とコミュニケーションをとるのでしょうか？ インターネットは本当の意味で人をつなぐのでしょうか？
でも宇宙人とはどうでしょう？ そして、人類は地球外生命とコミュニケーションをとる時代がやってくるのでしょうか？

“地球の生命と地球外の生命、両者が相手に求める事は実は同じなのです。お互いに自分が誰なのかを知りたいのです。”
カール・セーガン

ノロアス

ソコニダシカイルノデスカ?

人はなぜ他人とコミュニケーションをとるのでしょうか? インターネットは本当の意味で人をつなぐのでしょうか? でも宇宙人とはどうでしょう?

この番組は、絵文字の世界、印刷の発明などの歴史的な事実を紹介しながら、コミュニケーションの発展をたどります。

そして、人類は地球外生命とコミュニケーションをとる時代がやってくるのでしょうか?

●バベルの塔

文明の夜明けと呼ばれる時代。ユーフラテス川沿いのメソポタミアに、古代都市バビロンがつけられました。バビロンの人々は、神々が住むと言われる山々より高くそびえる「バベルの塔」を建てようとした。それを快く思わない神々は、人間から「言葉」を奪ってしまったのです…。コミュニケーションをとる方法は、現在に至るまで世界中で進化してきました。

●オフィス

他の人とコミュニケーションをとったり、情報を共有したりするには、まず話すことが大切です。話すことによって、今、起こっていることを説明することはもちろん、過去の思い出を共有したり、将来についてのプランを立てることも、私たちの考えを飛躍させることもできます。

●図書館

文字や絵は、最初、動物の皮や、植物を薄く伸ばしてつなぎ合わせたものなどに書き込まれ、その後、中国で考案された紙が使われるようになりました。ある人が書いた文字や絵を、大勢で共有する唯一の方法は、手作業による本の量産です。中世ヨーロッパでは、専門家が一冊ずつ、文字や絵を手書きで書き写し、束ねて本に仕上げました。

●本による広がる世界

印刷により、離れた国の人々がアイデアの交換を迅速にできるようになり、広く遠くへ伝わっていきました。世界中の図書館の棚は、遠い異国や、輝かしい人々の物語を記述した本でいっぱいになりました。本は、今まで経験したことのない舞台へ私たちを連れて行ってくれます。そこには様々な世界が広がっています。

●宇宙人へのメッセージ

1970年代になり、人類はボイジャー探査機を宇宙へ送り出しました。ボイジャーには金色の円盤が乗せられ、地球の人類から宇宙人へ向けた挨拶やメッセージが記録されています。宇宙を海に例えるならば、大海原を漂うメッセージボトルのようなものです。そのメッセージが、最初の星に到達するには、数百万年という時間が必要となるでしょう。

●ニューロン

私たちの天の川銀河は数千億の星で構成されています。人間の脳も、ニューロンと呼ばれる数多くの神経細胞からできています。天の川銀河の星の数に匹敵するほど多くの細胞が、一人の人間の脳を作っています。この仕組みが、とても複雑な信号のやりとりやネットワークを作り、言葉が生まれてくるのです。

●洞窟から文字の出現まで

最も古い洞窟の絵は、人の手と足を描いたものでした。紀元前 4000 年頃、絵文字が考えられ、徐々に表意文字へと発展しました。そして紀元前 2000 年頃、フェニキア文字を起源にギリシア人によって最初のアルファベットが生まれます。それにより、科学、哲学、文学などの分野において、表現は簡単になり、無限の可能性が生まれたのです。

●印刷技術の発展

15 世紀のヨーロッパの人々は、木製原版などに墨や絵の具などを付けて紙に転写したり、文字版を組み合わせて紙に印字する方法を知ります。それらの技術を組み合わせ、画期的な印刷システムを考案したのは、ドイツ出身のヨハネス・グーテンベルクだと言われています。これはかつてない規模の文化革命でした。

●無人島

人は、誰にも頼ることができず、たった一人になることがあります。文明から離れ、人と接することもなくなってしまったら、あなたの人生はどうなってしまうのでしょうか? 他人との会話を通じて、意見や気持ちを伝え合うこと。コミュニケーションをとる相手がいなければ、どうなるのでしょうか? たとえば、遭難して、無人島に一人で暮らすことになってしまったら・・・。

●インターネットと地球外通信

私たちはコンピューターや電話同士で交わされている膨大な情報の中で暮らしています。インターネットは、世界中の機能を変えています。インターネットを活用した、新しいコミュニケーション方法が次々と現れています。もうすぐ、地球外知的生命、宇宙人とコミュニケーションをとる方法が見つかるかもしれません・・・。